

ごあいさつ



野木町長
真瀬宏子

新年明けましておめでとうございます。
本年も皆様にとりまして、素晴らしい年となります。
まずことを心よりお祈り申し上げます。

また、町政運営にあたり、日ごろよりご理解とご協力をいただいております事に深く感謝いたします。本年も野木町から強く光を発信して存在感のあるまちづくりを進めてまいります。明るい未来に向かって力を尽くしてまいりますので、よろしくお力添えのほどをお願いいたします。

支えあうまちづくり ～総合サポートセンター本格稼働～

昨年10月にプレオープンいたしました「野木町総合サポートセンターひまわり館」が本年4月より本格稼働いたします。

この施設はその名のとおり、健康や福祉、子育て、介護等あらゆる相談ごとの窓口としてお役に立てますよう、職員が控えていますので、是非お気軽に訪ねていただければと思います。また高齢者と若い世代の人たちの自由な交流の場としても、大いにご利用いただければと思っております。これによって気軽に立ち寄り相談できる環境づくりを進め、互いに支えあい、共に生きるまちづくりの拡充を図ってまいります。

活気あふれる産業活動 ～第二工業団地への企業進出～

これまで造成工事をしておりました野木第二工業団地がこの春には完成いたします。そのあとは売却先の各企業による工場等の建設が始まる予定です。企業の操業が開始されれば、雇用の拡大や産業活動の活性化が進むことになり、地域経済の発展に大きく寄与できるものと思っております。これま

で以上に活気に満ちた野木町になると期待が持てます。

安全・安心な暮らしのために ～全町避難訓練の実施～

近年では気候変動による異常気象が発生しやすく、わたしたちの災害に対する意識は益々高くなっております。町では特に水害に対しストックマネージメントによる計画的な防災策を構築するとともに、思川沿いの緊急避難地や堤防強化、築堤を進めてまいります。また、日常生活で突然降りかかる災害に対し、町民一人ひとりが自らの生命と財産を守り、地域が互いに助け合う環境づくりを構築するために、災害に備えた避難訓練が大変重要になってきます。来る10月6日には「第二回全町避難訓練」を行いますのでよろしくご協力のほどをお願いいたします。

共に歩み、共に生きる喜びに満ちて ～協働のまちへ～

本年もみなさまと協働で、災害に負けない強いまちづくりを確立して参ります。ともに野木町に住むことの幸せが実感できますように努力してまいります。何よりも皆様の「笑顔」が輝くまちづくりの基本です。

共に喜び共に生きる「ふれあいの町」。小さくてもキラリと光る「県南玄関の町」。やさしさと安らぎに満ちた「子育てしやすく住みやすい町」。明るく笑顔あふれる「花と煉瓦の町」。野木町を今年もさらに輝かせて、共に喜びあえるよう、全力を尽くすことをお誓いし、皆様が益々お幸せでありますようお祈りいたしましたして、年頭に当たってのご挨拶いたします。

2019年(平成31年)



新年の



野木町議会議長
鈴木孝昌

〜新時代の幕開け
我がふるさと のぎまち〜

新年明けましておめでとうございます。
町民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

また、日頃より町政の発展、並びに、議会運営に対し、深いご理解とご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。

昨年は、異常気象に伴う集中豪雨・大型台風や地震災害、猛暑等による甚大な被害が日本各地に深い傷跡を残しました。自然の驚異を改めて痛感すると共に、日本全体が協力して災害復旧に取り組み必要性を強く感じました。

野木町では、自然災害が町全体に甚大な被害を与えることはありませんでしたが、これもひとえに、皆様の危機管理意識の高さと、夜を徹して活動された消防団員をはじめ、関係各位のご尽力の賜物と、あらためて敬意を表します。

さて、野木町議会では議会改革の一環として、昨年中に予算決算常任委員会の新設や議会基本条例や政治倫理条例の検証を行いました。

また、女性目線の意見を広く頂戴し、政策提案に反映させるため、「女性団体連絡協議会」にご協力いただき、「町民との意見交換会」を開催いたしました。

本年も、信頼される議会・開かれた議会の実現に向け、議会だよりや町民との意見交換会による広報広聴活動の充実、政務活動費運用規定の検証等のもとより、多様化する社会・経済情勢の変化を的確に把握しながら、持続可能で魅力ある野木町であり続けるため、二元代表制の一翼を担う議

事機関として、行政運営のチェック機能を充実させ、町民と行政の架け橋としての職責を果たしてまいります。

新たに迎えた本年は、我が野木町にとっても大きく飛躍へと踏み出す年であります。

今上天皇が生前退位の意向を示され、4月30日で「平成」が幕を下ろし、5月1日より新たな元号による新時代の幕開けを迎えます。

機を同じくして、4月の統一地方選挙の後、町議会議員選挙により、県議・町議ともに新たなスタートを迎えます。

これまで、行政と議会は車の両輪であると言われてきましたが、これからの町経営は町民・企業・行政・議会の四輪駆動で進まなければならないと考えます。

引き続き、皆様の力強いご協力とご理解を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

皆様と共に、明るい笑顔と希望があふれる一年を歩むことを強く願い、新年のごあいさつとさせていただきます。

